

信州うえだの自然の魅力を 体感していただく皆さまへ

豊かな自然に育まれた信州うえだの生きもの

長野県は本州のほぼ中央に位置し、日本アルプスをはじめ3,000メートル級の山々が連なる山岳県で、「日本の屋根」とも呼ばれています。また、大川川の源流が県内にいくつも流れ、生きものにとって幅広い環境が提供されています。

上田地域は長野県の東部に位置し、上田市、東御市、長和町、青木村の4市町村で構成され、佐久地域とともに東信地域と呼ばれています。

東に上信越高原国立公園、西に八ヶ岳中信高原国定公園の2つの自然公園があり、菅平高原、湯の丸高原、美ヶ原高原といった2,000メートル級の風光明媚な高原を有しています。また、千曲川が上田地域の中心を雄大に流れています。市街地の標高約400メートルと高原との差は1,600メートル程あり、この標高差の大きい地形という恵まれた自然環境に育まれて、多種多様な生きものが、個性をもち、直接、間接的に支え合いながら生きています。

上田地域の生きものは、千曲川周辺、ため池、里地里山で身近にみられるものから、高原地帯などに生息する希少なもので、それぞれ季節ごとに趣のある姿でわたしたちの目を楽しませ、癒しと安らぎを与えてくれます。四季折々様相を変えていく信州うえだの自然の魅力を、生きものを通して体感してください。

高原の生きもの



ニホンカモシカ

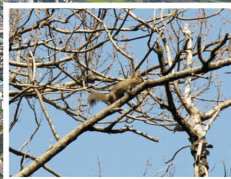


アサギマダラ



キキョウ

里地里山の生きもの



ウズ

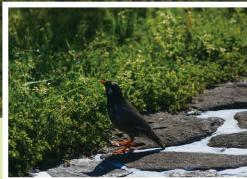


ミンミンゼミ



シナノアキギリ

平地や河川などの身近な生きもの



ムクドリ



ヤマメ



ツリフネソウ



りんどう 長野県花



さくら 上田市花



ツツジ 長和町花



レンゲツツジ 東御市花



アイリス 青木村花